

只木ゼミ前期第4問検察反対尋問レジュメ

文責:3班

1. 弁護レジュメ 1 ページ 17 行目以下において、常習犯や確信犯など、違法性の意識がない場合でも、法秩序の精神に反し、道義的規範に反することがあるのではないか。そのことをどのように説明するのか。
2. 故意が認められるためには、法的に非難可能である必要がある。そのため、「国民的道義に反する」という意識のみでは法的に非難可能であるとはいえず、故意は認められないのではないのではないか(弁護レジュメ 1 ページ目 18 行目以下)。
3. 弁護レジュメ 2 ページ 1 行目において、違法性の意識及びその可能性を直ちに責任要素とする点に根本的な疑問があるとするが、具体的にはどのような疑問があるのか。